

第5学年 国語科学習指導案 【公開授業Ⅰ】

児童 5年1組 男17名 女14名 計31名

指導者 工藤千穂

1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

2 教材名 「ニュース番組作りの現場から」 (光村図書「国語5年下 銀河」)
「工夫して発信しよう」

3 単元について

(1) 教材について

第5学年及び第6学年の「読むこと」領域における目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」ことである。これを受けて本単元では、「イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること」「オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること」が学習内容の中心となる。

本単元では、「ニュース番組作りの現場から」と「工夫して発信しよう」の2つの教材で構成されている。1つ目の「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の特集の作り方についてまとめた文章である。その文章の読み取りを生かし、2つ目の「工夫して発信しよう」では、自分が伝えたいことや相手が知りたいことを考えて発信することを主なねらいとしている。社会科の学習などを通して世の中についての興味・関心を高めてきている児童が、社会についての情報を最も多く取り入れているのがテレビのニュース番組であろう。注意して見ることは少なくても、ニュース番組がどんなものであるかについてのイメージはなんとなくっており、児童が興味・関心をもちながら読み進めることのできる教材である。

「ニュース番組作りの現場から」は、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方などが、時間にそって分かりやすく整理されている。その点で本教材はニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る文章としても適していると考えられる。

(2) 児童について

児童は1学期の教材「サクラソウとトラマルハナバチ」において、語句に着目して段落毎の要点をとらえたり、文章の構成から要旨をとらえたりすることを通し、筆者の考えに対して自分の考えをもつ学習をしてきた。指示語や接続語に着目し、文章の内容や構成を理解してきたことで、自分の力で文章を読み取ることができる児童が増えてきたが、読み取りの力には個人差がある。

レディネステストの結果では、ほとんどの児童が話題提示文を選ぶことができていた。しかし、中心文や中心語句を選んだり、段落の要点を押さえ、段落と段落の関係を考え、文章の構成をとらえたりすることについては個人差が見られた。また、根拠を明らかにして論理的に文章を読もうとする意識がまだ十分とは言えず、どんな語句に着目したらよいか迷っている児童も多い。そこで、スキルタイムでは、中心文や中心語句をとらえて、要点をまとめることや、段落の関係をつかみ文章構成について考える学習を行った。

(3) 指導にあたって

本単元では、まず、「ニュース番組制作」について書かれた文章を読み取り、情報をどのようにして集めるのか、撮影やインタビューの手順、さらには映像の編集や原稿の書き方等の全体の流れや、また、それら全体を貫く、発信者の意図や願いがあることを理解させたい。そして、それらを知ったうえで、自らが原稿を書くなどしてニュースを発信する活動を取り入れたい。発信する活動を行うことで、視聴者として接するだけのニュース番組を、今後はより客観的・立体的に見ることが出来るようになるものと考えている。

前半の説明文の読み取りの学習では、ニュースを人々に伝えるまでの過程を時間の順序にしたがって読み取り、次に、番組作りの過程で大事な点や工夫することを読み取っていくという段階的な読み取りをしていきたい。教材文の全体構成が理解できるように表を用いて整理させたい。また、特集とは何かをきちんととらえさせたい。番組作りの各過程で大事な点や、工夫することを読み取らせ、それをもとに番組を作る人々の努力や思い、願いへと結び付け、さらに要旨へと迫りたい。1学期に学習した「サクラソウとトラマルハナバチ」が謎解きのような文章であるのに対して、「ニュース番組作りの現場から」は時間進行に沿った文章であることから、時間を表す言葉や、接続語、文末表現に着目しながら、中心語句や中心文を見つけ、内容を読み深めていきたい。

さらに、本単元では、「ニュース番組作りの現場から」に書かれた内容が、後半の「工夫して発信しよう」の活動のための手引き、あるいは解説ともなっている。その意味でも、「ニュース番組作りの現場から」は的確に読み取っておくことが大切である。特に、集めた情報を選んだ後、目的に応じて編集するという事はしっかり押さえない。「工夫して発信しよう」の活動では、発信する情報のできそのものが重要なのではなく、受け手にとって意味のある話題をどう取り上げるか、取材のための方法にはどんなものがあるか、どういう情報が必要か、伝えたいことの内容がよく分かるようにするにはどう編集したらよいか、などを考えることを通して、目的に応じた情報の配列・編集等についての理解を深めていきたい。

4 単元の目標

- 〈関心・意欲・態度〉・ニュース番組を作るために、ニュース番組作りの工夫を読み取ろうとする。
- ・ニュースを発信するために、相手に分かるような編集をして伝えようとする。
- 〈書くこと〉
- ・自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信することができる。(ア)
 - ・編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理することができる。(イ)
 - ・集めた材料を目的に合わせて整理し、加工して伝えることができる。(エ)
- 〈読むこと〉
- ・番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取ることができる。(イ)
 - ・自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段階ごとに読み取ることができる。(オ)
- 〈言語事項〉
- ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。
- (オー (ア))

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<p>①ニュース番組を作るために、ニュース番組作りの工夫を読み取ろうとしている。</p> <p>②ニュースを発信するために、相手に分かるような編集をして伝えようとしている。</p>	<p>①自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信している。</p> <p>②編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理している。</p> <p>③集めた材料を目的に合わせて整理し、加工して伝えている。</p>	<p>①番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取っている。</p> <p>②自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序に従って段階ごとに読み取っている。</p>	<p>①文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。</p>

6 学習指導計画（全14時間 書7 読7）

過 段 程 階	時 間	学習活動	教師の支援	具体的評価規準 (評価方法)
追 究	1	<p>○テレビのニュース番組を見た経験等をもとに感想を話し合う。</p> <p>○「ニュース番組作りの現場から」の範読を聞いて、初めて知ったことや興味をもったことを書き、感想を交流する。</p> <p>○新出漢字の練習をする。</p>	<p>・その時期に話題となっているニュースや子どもたちにとって身近な事柄に関するニュースを提示し、ニュース番組に対する関心を高めることができるようにする。</p>	<p>関①単元名教材文に目を通し、単元の見通しをもとうとしている。 (発言・ノート)</p> <p>読①番組作りの過程や報道スタッフの願いなどに対し、感想をもっている。(発言・ノート)</p>
	1	<p>○文章全体の構成を考える。</p> <p>・12の形式段落をおさえ、「はじめ(話題提示)」「中(説明)」「おわり(筆者のまとめ)」の3つに分ける。</p> <p>・はじめ(話題提示)を読み取る。</p>	<p>・文末表現や時間を表す語句などに着目し、文章全体を、はじめ―中―終わりの3つに分けることができるようにする。</p> <p>・文末表現に着目し、話題提示文に気付くことができるようにする。</p> <p>・読み取りの手がかりになりそうな語句を意識しながら読むように促す。</p>	<p>読②12の形式段落を押さえ、話題提示、まとめの段落を見つけ、文章構成を考えるとともに、話題提示されている内容について理解している。</p> <p>(サイドライン、ノート)</p>

第二 次 の 過 程	1	○ニュース番組作りの過程を読み取り、表に整理する。	・教材に出てくるニュース番組特有の言葉を手がかりにして、ニュースを人々に伝えるまでの過程を時間の順序に従って読み取り、表に整理することができるようにする。	読②ニュース番組を作る手順を読み取っている。 (発言・ワークシート) 読②「特集」が出来上がるまでの過程を、教材文を手がかりにしながら表にまとめている。 (発言・ワークシート)
	1	○番組作りの「話題選択」、「取材」の過程で、大事なことや工夫していることをまとめる。	・「関心をよぶ話題」「疑問を中心に」「住民感情」「住民の理解」などの中心語句に目を向け、内容を考えることができるようにする。	関①ニュース番組を作るために、ニュース番組作りの工夫を読み取ろうとしている。(発言) 読①番組作りのそれぞれの過程で大事な点や工夫していることを正確に読み取っている。 (発言・ワークシート)
	1 (本 時)	○番組作りの「撮影」、「編集」の過程で大事なことや工夫をしていることをまとめる。	・「撮影」「編集」などの中心語句に目を向け、「どのように行ったか」内容を理解することができるようにする。 ・「目で見て分かる工夫」や「6時間を8分に」「前半」「後半」と言う語句に着目し、撮影や編集について考えることができるようにする。	
	1	○番組作りの「放送原稿」、「放送」の過程で大事なことや工夫をしていることをまとめる。	・「放送原稿」「放送」などの中心語句に目を向け、「どのように行ったか」内容を考えることができるようにする。 ・「書き方の工夫」という語句に着目し、原稿の書き方について考えることができるようにする。	言①ニュースの文章構成の特徴を理解している。 (発言・ワークシート)
	1	○12段落を中心に要旨をまとめる。 ・報道スタッフのニュースへの思いを読み取る。	・ニュース番組作りの過程における中心文・中心語句を基にして要旨をまとめることができるようにする。	読①内容を的確に押さえながら要旨をとらえている。 (発言・ワークシート)

発 展 の 過 程	第 三 次	1	○工夫して発信しようを読み、学習のめあてをつかむ。 ・わたしの特集というテーマの企画書を書く。	・特集の意味を確認し、みんなに知らせる値打ちのあるものや、考えてほしいことで実現可能な話題をテーマに選ぶことができるようにする。	関②知らせる値打ちのあるものや考えてほしいことを意欲的に選ぼうとしている。 (企画書)
		1	○情報発信までの手順を確認する。	・教材文を参考にして、手順を確認し、何を中心に伝えるのかを明確にできるようにする。	書①何を中心に伝えるのか明確にして書いている。 (企画書)
		1	○グループごとに企画会議を開く。 ・目的や話題が同じ人同士で、グループ毎に企画書を書く。 ・手順を確認する。	・進行役をおいて、個々の提案、質疑の時間を保証し、話し合いを行うことができるようにする。 ・「情報発信の方法」については、何が一番適しているか考えることができるようにする。 ・取材計画についてはできるだけ具体的に考えることができるようにする。	書①目的に沿った企画書を書いている。 (企画書)
		2	○グループごとに取材、編集をする。 ・取材メモを活用する	・ニュースが効果的に伝わるように、集めた材料から適切なものを選ぶことができるようにする。 ・選んだ材料の並べ方や、加工の仕方に着目できるようにする。	関②ニュースを発信するために、相手に分かるような編集をして伝えようとする。(ノート) 書①目的に応じて、必要な材料を集めている。 (ノート) 書②教材文から学んだ編集や発信の方法を生かし、材料を選んだり配列を考えたり、また写真や図表との関係も考えたりして、原稿を書いている。(ノート)
		1	○情報を発信し、発信者の意図と受信者の感想を交流する。	・発信された情報について、工夫している所やよさについて着目できるようにする。	書③集めた材料を目的に合わせて整理し、加工して伝えることができる。(発言・ノート)

	1	○単元全体を振り返り、情報の発信や受信について考えを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース番組作りの流れを再確認できるようにする。 ・ニュース番組作りを経験してみて、初めて知ったことや感じたことを手がかりに、考えたことをまとめることができるようにする。 	読①情報の発信や受信について考えを深めている。(発言・ノート)
--	---	--------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------

7 本時の指導

(1) 本時の目標

○ニュース番組を作るために大事なこと、工夫することを読み取ることができる。

(2) 研究主題にかかわって、語句に着目した指導の工夫

○中心語句に着目して、ニュース番組作りの過程で大事なことや工夫していることを読み取ることができるようにする。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。	・話題選びから取材までについて学習したことを確認する。
5分	<p>ニュースを分かりやすく伝えるために、大事なことや工夫していることについて考えよう。</p>	
追究する	3 課題解決のための見通しをもつ。 4 学習場面を確認する。 5 課題に迫るための読み取りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「撮影」「編集」などの中心語句に着目し、「どのように行ったか」を順序よく読んでいけばよいことに気付くようにする。 ・第⑦段落～第⑨段落までを読み取ることを確認する。
35分	(1) ニュース番組を作る過程で、大事なこと、工夫していることを読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どのように行ったか」ニュース番組を作る過程をワークシートに順序よくまとめるようにする。 ・「目で見て分かる工夫」、「6時間を8分に」、「前

<ul style="list-style-type: none"> ・さつえい、編集などの番組作りの過程を表にまとめるなどの番組作りの過程を表にまとめる。 (自力解決) <p>(2) 過程を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過程が正しいか、段落と合わせながら確認する。(全体) ・ニュース番組を分かりやすく伝えるために大事なことや工夫していることについて考える。 (全体) 	<p>半」、「後半」、という語句に着目し、撮影や編集について過程をまとめるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章をそのまま写すのではなく、できるだけ自分の言葉でまとめるように促す。 ・板書は児童の言葉を入れながらまとめていく。 ・「なぜ、目で見て分かるように工夫をするのか。「6時間を8分にするのか。」について考える。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

具体の評価規準			
	A：十分満足	B：概ね満足	努力を要する児童への支援
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース番組を分かりやすく伝えるための過程を理由を考えながら自分の言葉でまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース番組を分かりやすく伝えるための過程を叙述に沿ってまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「目で見て分かる工夫」、「6時間を8分に」、「前半」、「後半」という語句を手がかりにして、「どんなことをしたか」に気をつけて読むように助言する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の教材文へのサイドラインや発表の様子により把握する。 ・授業後のワークシートへの記述内容により確認する。 		

まとめる5分	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理したことを読む。 <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース番組を作る過程を全体で振り返る。 (板書で確認) ・要旨をまとめることを伝える。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 板書計画

ニュース番組作りの現場から

清水 健宇

ニュースを分かりやすく伝えるために、
大事なことや工夫していることについて考えよう。

過程・・・物事が始まってから、ある結果になるまでのすじ道。
○「さつえい」「編集」などの中心語句に着目し、「どのように行ったか」
順序よく読んでいく。

時間	過程	事例
3 (放送日の) 八日前 二日前	<p>大事なことや工夫していること</p> <p>○会議 ⑦段落</p> <p>・再び会議を開き、放送内容の中心をたしかめ、さつえい計画を立てた。</p> <p>○だれにインタビュースるかどこをさつえいするか決めた。</p> <p>○さつえい⑧段落</p> <p>・目で見て分かるように工夫する。</p>	<p>○住民にインタビュースするとき面のどこかに富士山を入れてさつえいしたり、実際のひなん訓練にアナウンサーも参加して住民の声を聞いたりした。</p>
4 (放送日の) 二日前	<p>○編集 ⑨段落</p> <p>・疑問に対する答えが分かるように編集をした。</p>	<p>○六時間のビデオテープを八分間分にまとめた。これまで行われなかった訓練がなぜ実現したか、訓練に参加した住民はどう思ったか分かるように編集。</p> <p>前半・・・富士山の歴史、観測結果 後半・・・住民の声</p>

ニュースを分かりやすく伝えるために、

- ・富士山の映像を入れたり、実際の訓練に参加したりして、住民にインタビュースし、目で見て分かるようにしている。
- ・時間を縮めても、疑問に対する答えが分かるように放送、内容を選んでいる。

